

2月



# としよしつだより



2月3日は「節分」鬼はそと!福はうち!

鬼が出てくることわざの紹介



鬼に金棒...鬼は鬼であるだけで強い。その鬼に金棒を持たせればもっと強くなる。  
鬼の居ぬ間に洗濯...ふだん一緒にいると気を使わなければならない人やきびしい人

のいないあいだに息抜きをしてくつろぐこと。

鬼のかくらん...ふだんは丈夫で、病気でもしそうでない人が思いがけず病気になる

こと。

鬼の目にも涙...鬼のように情け知らずな人でも、優しい気持ちを起こすことがある

鬼が笑う...見通しがはっきりしない希望や、実現が難しいと思われることなどを言

った時に、それをからかっていう言葉。

鬼の首を取ったよう...大手柄を立てたように有頂天になるさま。

渡る世間に鬼はない...世間には鬼のように冷たい人ばかりでなく、心が温かくて親

切な人もいるというたとえ。

## 2月22日は『猫の日』

## 春を感じる言葉や自然の様子

・ニ(ニャー)月ニ(ニャー)十三(ニャー)日だから、「猫の日」です。  
ニャーニャーニャー!あなたはネコ好きですか?

- ・立春...暦の上で、春がはじまる。
- ・啓蟄...冬の間、土の中で眠っていた生きものたちがおきだしてくる暖かな春の様子
- ・雨水...寒い冬に降り積もった雪がとけだす。(2月19日)
- ・三寒四温...寒い日が三日続いた後、暖かい日が四日続く天気のこと。

## ☆今月のおすすめ本の紹介

 <p>「100万回生きたねこ」 作・佐野 洋子 泣かないねこでしてしたが心温まるお話。</p>	 <p>「ぼくとニケ」 文・伊澤 雅子 主人公の玄太と友だちの仁菜が見つけた猫との出会いからさよならまでの物語。子どもの頃から猫好きな人にピッタリです。</p>	 <p>「ノラネコの研究」 文・伊澤 雅子 あなたの町の猫はどんな、暮らしをしていますか?</p>
 <p>「ライオンと魔女」 作・C・Sルイス 雪のふりつもる別世界、ナルニア国の話。魔女の呪いで冬が続く国を救う物語。</p>	 <p>「シロクマが家にやってきた」 作・マリア・ファラー 障害のある弟ばかりが優先され、主人公は毎日頑張ります。主人公は家を飛び出たのがシロクマです。</p>	 <p>「アナと雪の女王」 文・中井 はるの ディズニーの人気作品です。映画の感動をもう一度。今の時期にピッタリです。</p>

志布志市立野神小学校

まだまだ寒さが厳しい2月です。暦のうえでは立春をすぎ、校庭の草木は春に向かって準備をしています。

この間、図書委員会のみなさんが、「おみくじ企画」を行ってくれました。1日最高、70人を超えるほどの児童が来てくれて、おかげで、1月の貸し出し冊数が1438冊となりました。1年生もたくさん本を借りて読んでくれます。他の学年でも友達同士で本を紹介したり「この本面白いよ」「この本は面白かったから続きを買ったよ」と話したりしている様子があり、みなさんの様子に変化があります。図書室に通っているうちに、本が身近なものに感じられ、本を読むのが好きになるはずで

左のグラフは4月から1月までの貸し出し冊数です。6月と11月は読書旬間で貸し出しの多い月になっています。1月は2週間で1400冊の貸し出しになり、目標達成に向けて頑張っていましたね。図書委員会も仕事を頑張りました。今、持っているプレゼント券は2月までに使ってください。下のグラフは年間目標達成者とおすすめ本読破達成者です。3月に表彰式があります。まだ、間に合いますので頑張ってくださいね!

